オンラインセミナーシリーズ

Transform Analytics to Answers.

ビジネス成果を獲得するデータ活用を成功させる5つの成功要因

2020年6月12日

日本テラデータ株式会社
コーポレート・エバンジェリスト
エグゼクティブ・コンサルタント
金井 啓一

teradata.

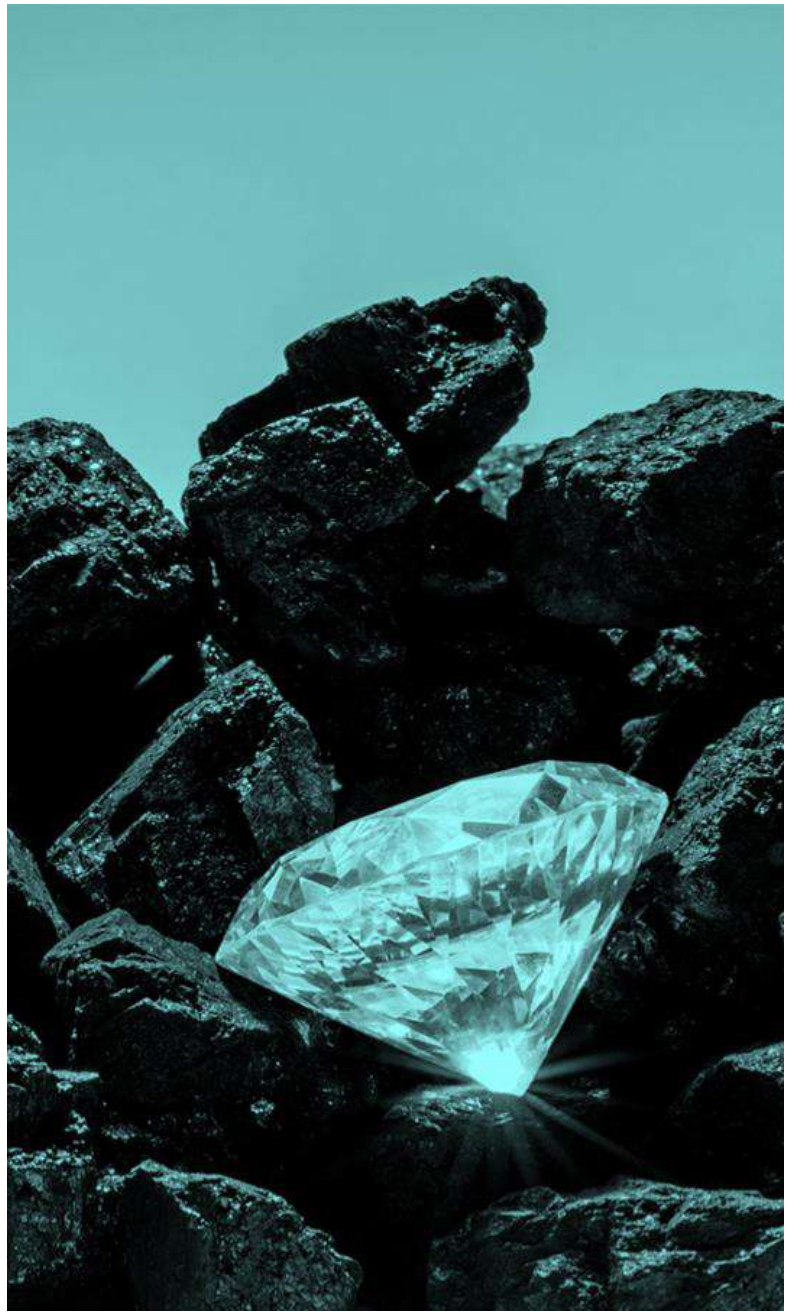
自己紹介

日本テラデータ株式会社
コーポレート・エバンジェリスト／エグゼクティブ・コンサルタント
金井 啓一

自動車会社を始めとした製造業、通信業、金融業などのビジネス部門やIT部門に対して、いかにデータエコノミー時代の競争を勝ち抜くか、データ経営の戦略実現、業務課題の解決、エンタープライズDWHの構想策定、データ統合、アナリティクスの実行、データ活用組織(BICC)・データマネジメント組織(DMO)の立上げなど、コンサルティングとデータ活用実践のリーダーとして、日本の各企業の競争力強化に貢献している。

連絡先：keiichi.kanai@teradata.com

 ©2020 Teradata



Agenda

- ✓ ビジネスは、データ活用でデジタルトランスフォーメーション！
- ✓ データ活用における問題や課題を挙げてみましょう！
- ✓ 問題や課題の解決策・重要成功要因は何でしょう？
- ✓ 重要成功要因１～5
- ✓ Q&A、まとめ

- ✓ 次回開催のご案内
- ✓ Teradataの会社概要
- ✓ Teradataがご提供するサービス
- ✓ データマネジメント成熟度診断のご紹介

©2020 Teradata

データ主導型の経済が生まれている！

Internet Economy → Data Economy

©2020 Teradata

データ主導型の経済が生まれている！

ビジネスは、データ活用で
デジタルトランスフォーメーション！

Internet Economy → Data Economy

©2020 Teradata
teradata.

しかし・・・

DATA

Data rich, **insight poor**

©2020 Teradata
teradata.

データ活用における問題や課題を挙げてみましょう！

©2020 Teradata

データ活用における問題や課題を挙げてみましょう！

問題・課題
目の前の業務をこなすためにデータを利用しているが、その都度データの準備をする必要があるので、手間と時間がかかる
データが散在し所在が不明で、探すのに多大な時間がかかるため、業務ですぐに使えない
データの重複が多く、正しいデータがすぐに分からない、またデータの誤りも多く、使えない
膨大なデータはあるが、ユーザー向けに整備されていないので、ほとんど使われない
複数のシステムの中で似たようなデータ処理を行っていて、整合性がとれていないため、ユーザーは使いにくい
業務の中でデータを有効活用しようという習慣がないため、経験や感覚的な判断で業務を回している
業務プロセスの中で、データ入力、変更、統合、検証などの処理の手順が決められておらず、時間がかかり作業負荷が大きい
データ活用の目的が不明確で、方針や戦略がないため、付け焼刃的に業務を回しているだけである
データ活用のためにはデータ管理が必要であるが、責任の所在が不明確である
経営者がデータや情報に対して関心がないため、現場がデータを整備しようとしても予算がつかないので限界がある

©2020 Teradata
teradata.

問題や課題の解決策・重要成功要因は何でしょう？

問題・課題

- 目の前の業務をこなすためにデータを利用しているが、その都度データの準備をする必要があるので、手間と時間がかかる
- データが散在し所在が不明で、探すのに多大な時間がかかるため、業務ですぐに使えない
- データの重複が多く、正しいデータがすぐに分からない、またデータの誤りも多く、使えない
- 膨大なデータはあるが、ユーザー向けに整備されていないので、ほとんど使われない
- 複数のシステムの中で似たようなデータ処理を行っていて、整合性がとれていないため、ユーザーは使いにくい
- 業務の中でデータを有効活用しようという習慣がないため、経験や感覚的な判断で業務を回している
- 業務プロセスの中で、データ入力、変更、統合、検証などの処理の手順が決められておらず、時間がかかり作業負荷が大きい
- データ活用の目的が不明確で、方針や戦略がないため、付け焼刃的に業務を回しているだけである
- データ活用のためにはデータ管理が必要であるが、責任の所在が不明確である
- 経営者がデータや情報に対して関心がないため、現場がデータを整備しようとしても予算がつかないので限界がある

解決策・重要成功要因

1. データ戦略の策定・実行とデータマネジメントの強化
   ～業務のデータ・オリエンテッドによる見直し
2. 業務プロセスへのデータマネジメントの組込みとデータ活用
   ～データマネジメント・プロセスの確立
3. データ活用のためのデータインフラの構築
   ～業務系、IoT、SNS、コネクテッドなどで発生するデータを整理し、必要な統合を整合性をもって実施
4. 組織体制の変革
   ～データマネジメント組織とデータ活用組織の発足と全社での運用
5. トップによるリーダーシップ
   ～全社を挙げた活動として、トップのコミットが最重要

©2020 Teradata
teradata.

ビジネス成果を獲得するデータ活用を成功させる5つの成功要因

	重要成功要因
1	データ戦略の策定・実行とデータマネジメントの強化 ～業務のデータ・オリエンテッドによる見直し
2	業務プロセスへのデータマネジメントの組込みとデータ活用 ～データマネジメント・プロセスの確立
3	データ活用のためのデータインフラの構築 ～業務系、IoT、SNS、コネクテッドなどで発生するデータを整理し、必要な統合を整合性をもって実施
4	組織体制の変革 ～データマネジメント組織とデータ活用組織の発足と全社での運用
5	トップによるリーダーシップ ～全社を挙げた活動として、トップのコミットが最重要

©2020 Teradata
teradata.

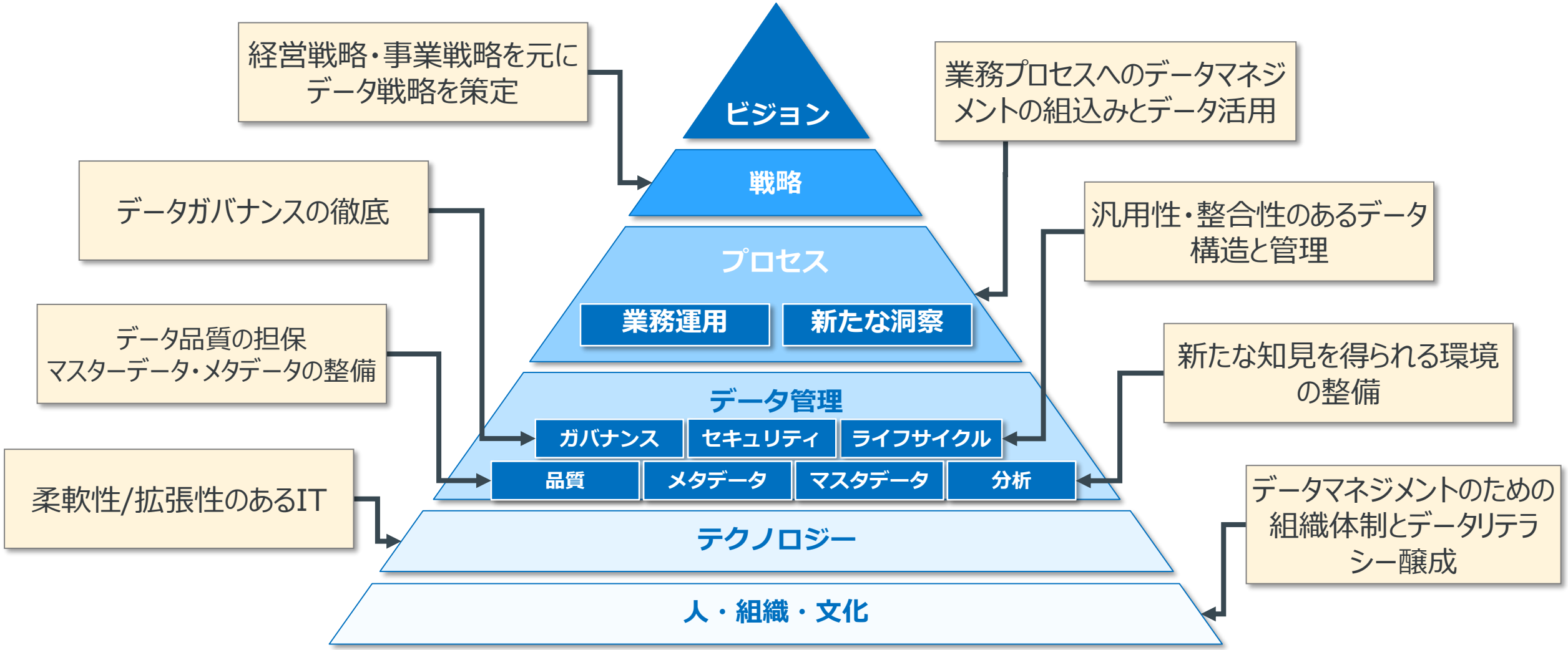
重要成功要因１

データ戦略の策定・実行とデータマネジメントの強化
～業務のデータ・オリエンテッドによる見直し

重要成功要因	
1	データ戦略の策定・実行とデータマネジメントの強化 ～業務のデータ・オリエンテッドによる見直し
2	業務プロセスへのデータマネジメントの組込みとデータ活用 ～データマネジメント・プロセスの確立
3	データ活用のためのデータインフラの構築 ～業務系、IoT、SNS、コネクテッドなどで発生するデータを整理し、必要な統合を整合性をもって実施
4	組織体制の変革 ～データマネジメント組織とデータ活用組織の発足と全社での運用
5	トップによるリーダーシップ ～全社を挙げた活動として、トップのコミットが最重要

企業活動のデータ・オリエンテッドによる見直し

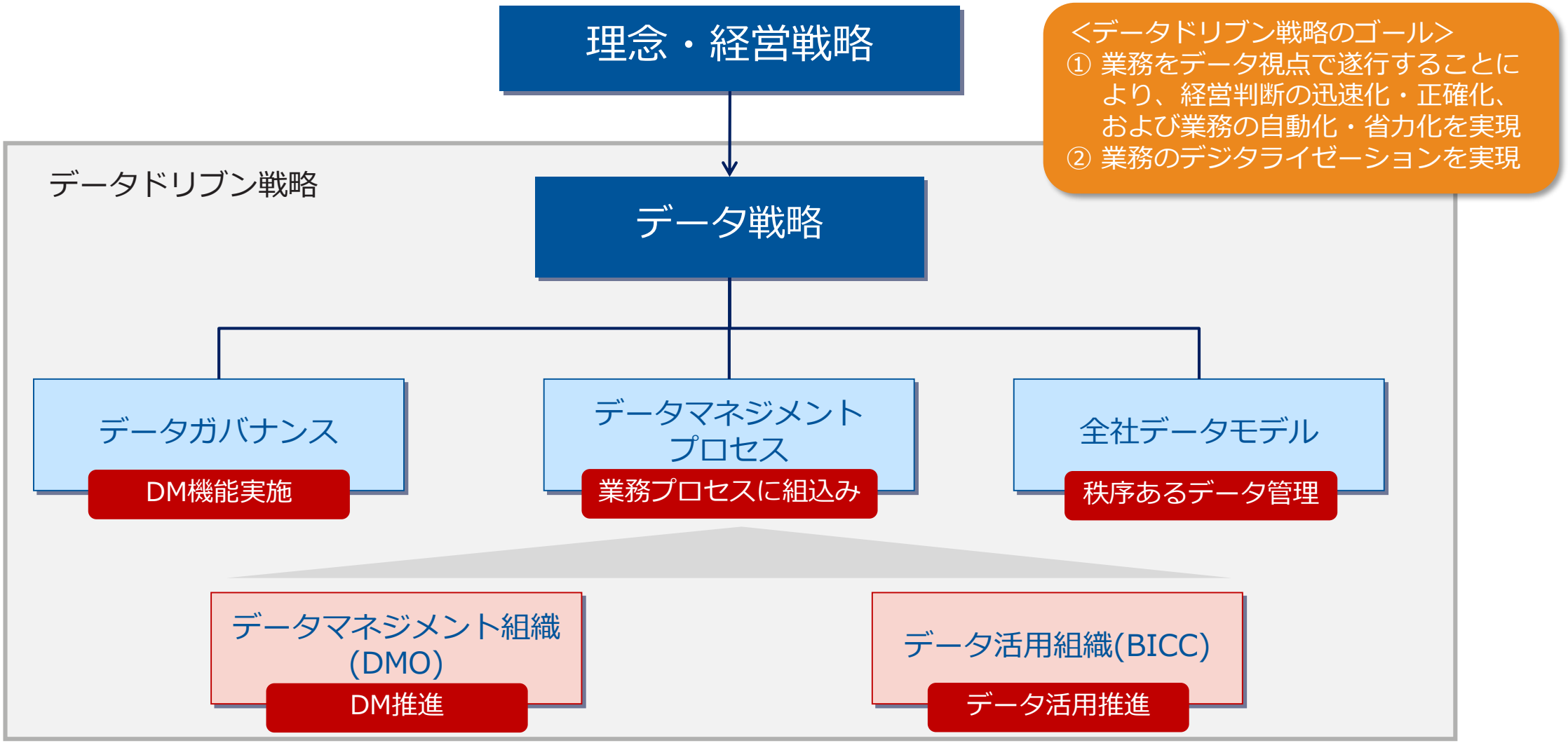
- 企業活動を “データ・オリエンテッド”に見直すことが重要です。マネジメント・フレームワークに当てはめると、次のようになります。



©2020 Teradata

データドリブン戦略の立案が最も重要！

- データドリブンとは“戦略”であり、経営目標達成の“CSF”です。その要素と実施すべきこととゴールを示します。

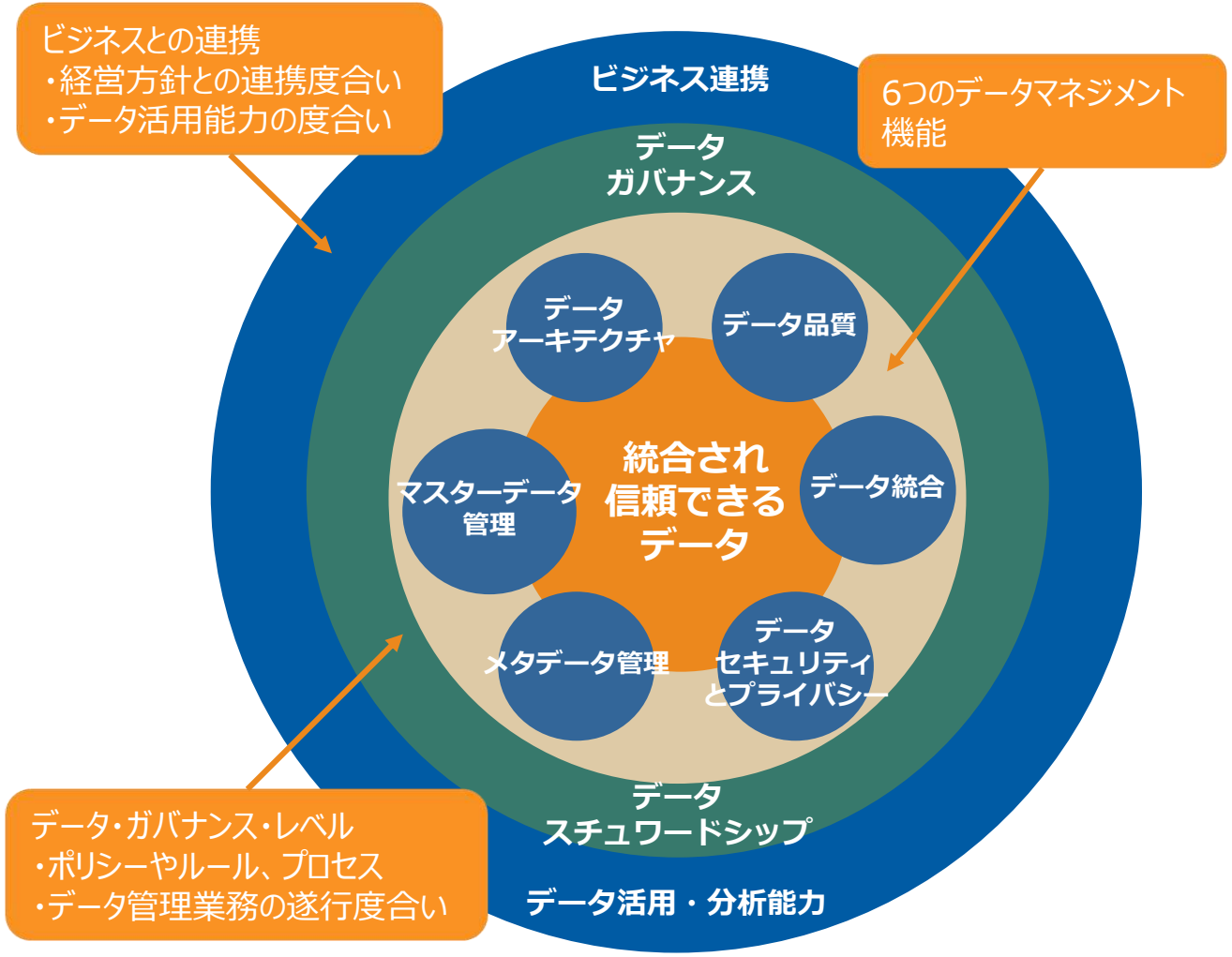


Notes; DM : Data Management
DMO : Data Management Office
BICC : Business Intelligence Competency Center

©2020 Teradata

データマネジメントのあり方：ToBeモデル

- データマネジメントの目的は、データを統合し、信頼性の高い情報に変え、提供することです。



データ・マネジメント能力と品質の決定要素

項目	説明
データ・ガバナンス	データの効果的な利用に向けて、原則、ポリシー、プロセス、標準を組立て、実装する習慣作りをすること
データ・スチュワードシップ	データを生成し、利用し、廃棄する、継続的で日常的な活動を行うこと
データ品質	データが利用目的に適合することを確実にすること
データ統合	事業部門およびサブジェクトエリア横断的に、一貫性、意味づけ、信頼性のあるデータのビューを提供するために、トランザクション・データやマスタデータ等を結合すること（データ獲得処理（ETL/ELT）も含む）
データ・セキュリティとプライバシー	データ・サブジェクト領域横断的に、監視、監査機能を含めた、情報セキュリティ、データプライバシー、規制遵守を適用すること
メタデータ管理	メタデータを容易にアクセス可能で、一貫性を備え、最新、正確、タイムリーに、完全性を持つことを確実にするために、人、プロセス、技術の各要素を結合すること
マスタデータ管理	データの一貫性を確実にするために、製品、顧客、サプライヤー、組織などの参照データおよびリレーションデータに焦点を合わせ、管理すること
データ・アーキテクチャ	論理データモデルおよび物理データモデルの維持に加え、ビジネスにおける情報ニーズと効果的なデータベース利用のために設計し、管理すること

©2020 Teradata
teradata.

銀行業界における5つのトレンド

- 銀行業界では今後５つのトレンドへの対応の必要性が高まります。データとアナリティクスによって、ビジネスモデルの革新が可能になります。

Digital CX

銀行は、テクノロジーのトレンドに乗り、従来のチャネルとは異なるデジタル・ネイティブ世代のセグメントに向けた新しい商品サービス戦略を構築しています。

Credit Risk

信用リスクは、銀行がAIへの投資に注力している最も重要な分野の1つです。顧客の信用力をより正確な方法で評価し、滞納とデフォルト、不正行為のきざしをいち早く検出することは、銀行の戦略における重要な要素です。

Costs Savings

プロセスの非効率性と手作業に伴う高コスト体質は、金融サービス業のいくつかの領域で依然として残っており、すべてのプレーヤーにとって重要なファクターとなっています。

Strategic Compliance

すべての金融プレーヤーは規制対応に注力しています。先端の企業群では、規制遵守を超えて価値を推進するための変革イニシアチブと実装計画を推進しています。

Open Banking

新しいオープン・バンキング・フレームワークの採用により、銀行はエコシステムに基づく新たなマーケットへのアプローチの検討を始めています。

©2020 Teradata

国内外金融機関：近年と今後の傾向

- この数年間のトレンド、および今後予想されるIT・データ活用/分析(アナリティクス)に関わるトレンドを中心に示します。

経営戦略 (デジタルトランスフォーメーション・構造改革など)

オープンエコシステム

事業戦略　IT基盤整備

銀行業高度化等会社（フィンテック企業、ECモール）が認められる
2017年施行 改正銀行法

情報利活用業務（第三者へのデータ提供ビジネス）が認められる
2019年5月成立　改正銀行法

金融サービスプラットフォーム

オープンAPI接続先拡大

金融サービスECOシステム

金融以外の提携先を含む拡張ECOシステム

情報銀行

ECOシステム参加企業

Open Banking (UK)
2018年1月13日から施行
Open Banking (EU)
2019年9月が対応期限
Open Banking (豪)
大手行は2020年6月末が対応期限

PSD2 (EU)
2018年1月13日から施行
2019年9月14日対応期限

一方、UKのOpenBankingから生まれたマーケットプレイス型ECOシステム「MiData」は、当初期待したほどには普及していないという評論もある。（フィンテック業者側から見て）

カスタマーエクスペリエンス

顧客戦略　デジタル化　アナリティクス　AI　テキストデータ

ECOシステムに参加する企業にとって、銀行データは、ユーザー経験をパーソナライズ化、より適切なものとする上で非常に有効

加盟店送客

オムニチャネル・カスタマージャーニーマネジメント

商品レコメンデーション

デジタライゼーション

モバイルファースト、モバイルオンリー

各種アプリ

ECモールサイト

「お客さまと緩やかな紐帯でつながる」
・金融商品に直接関係しないアプリ
・楽しいアプリ
・銀行らしくないアプリ

データ戦略

体制

顧客のデータは顧客のもの。企業のものではない

個人情報保護法改正（2020年の見込み）

BCBS239日本国内の対象行拡大？
リスクデータのガバナンス

データマネジメント体制強化

メタデータ管理
マスターデータ管理
データDNA

チーフデータオフィサー（CDO)設置
データマネジメントオフィス（DMO）設置
などなど。

店舗戦略

ダッシュボード

店舗統廃合

計画・事前評価

事後観察

KPIトレース

金融犯罪対策

態勢　AI

金融犯罪対策

AML強化

各種不正、サイバーセキュリティ対策強化

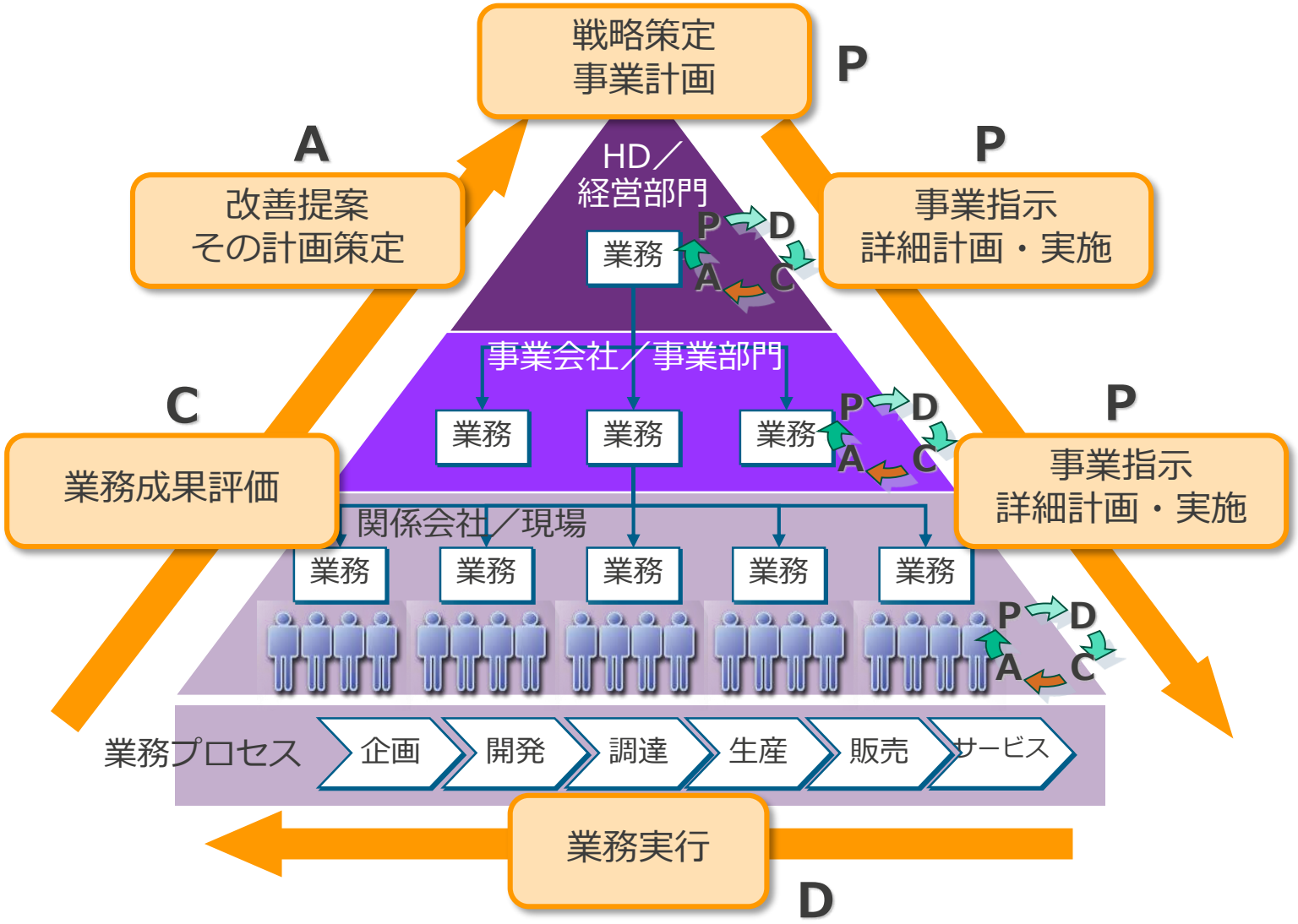
©2020 Teradata
teradata.

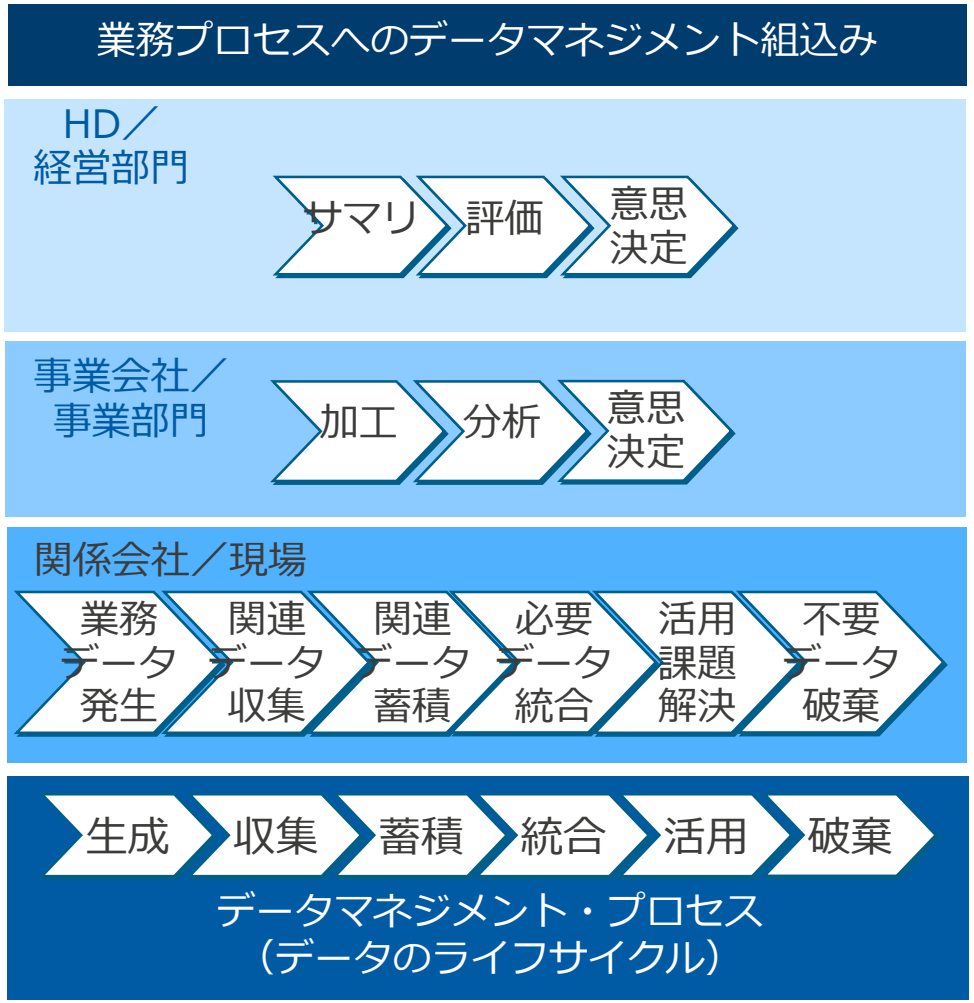
重要成功要因2
業務プロセスへのデータマネジメントの組込みとデータ活用　～データマネジメント・プロセスの確立

重要成功要因	
1	データ戦略の策定・実行とデータマネジメントの強化 ～業務のデータ・オリエンテッドによる見直し
2	業務プロセスへのデータマネジメントの組込みとデータ活用 ～データマネジメント・プロセスの確立
3	データ活用のためのデータインフラの構築 ～業務系、IoT、SNS、コネクテッドなどで発生するデータを整理し、必要な統合を整合性をもって実施
4	組織体制の変革 ～データマネジメント組織とデータ活用組織の発足と全社での運用
5	トップによるリーダーシップ ～全社を挙げた活動として、トップのコミットが最重要

業務プロセスへのデータマネジメントの組込み

- データマネジメントは、組織のすべての階層で必須のプロセスです。業務プロセスに組込むことが必要です。

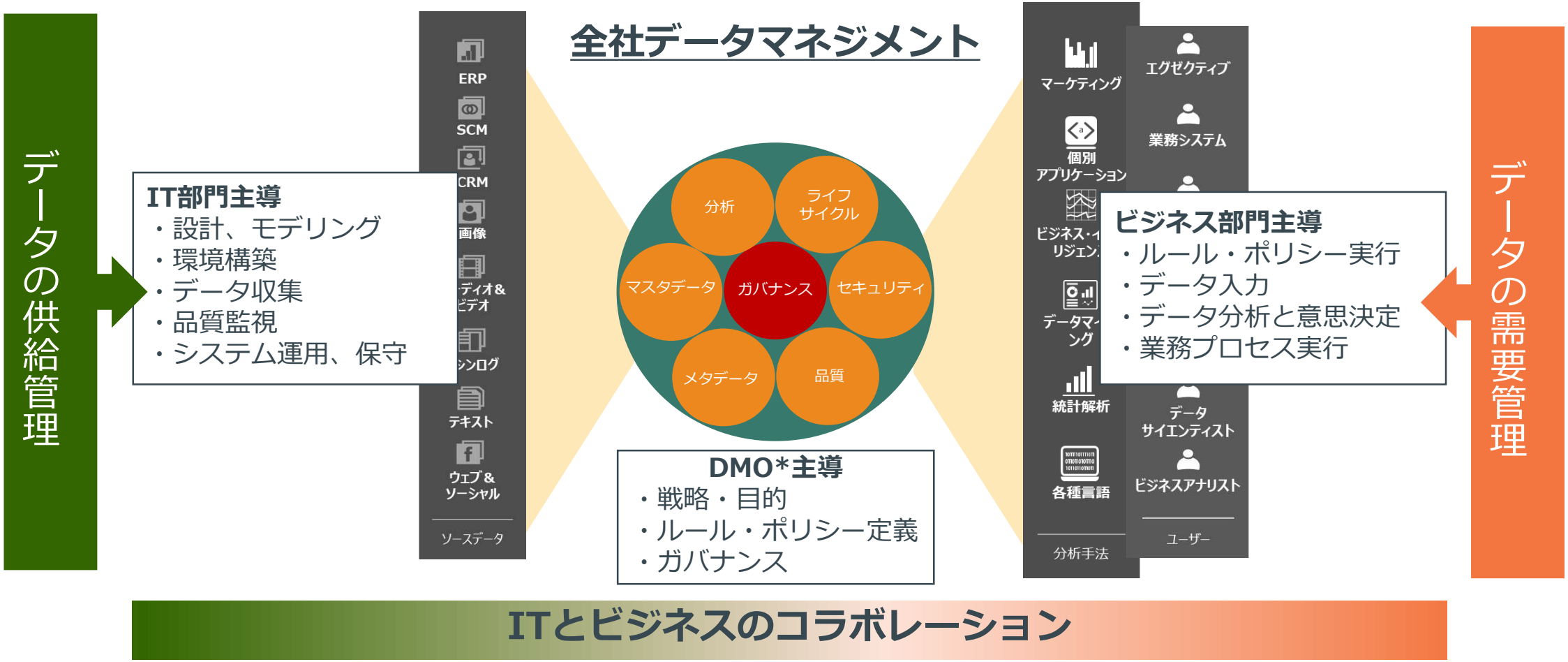




©2020 Teradata
teradata.

データの需要管理と供給管理

- 通常IT部門は「データをどのように提供するか」＝「データの供給管理」をメインに行いますが、「データをどのように利活用するか」＝「データの需要管理」についてはビジネス部門が主導でおこなう必要があります。全社データマネジメントにはIT部門とビジネス部門のコラボレーションが必須です。

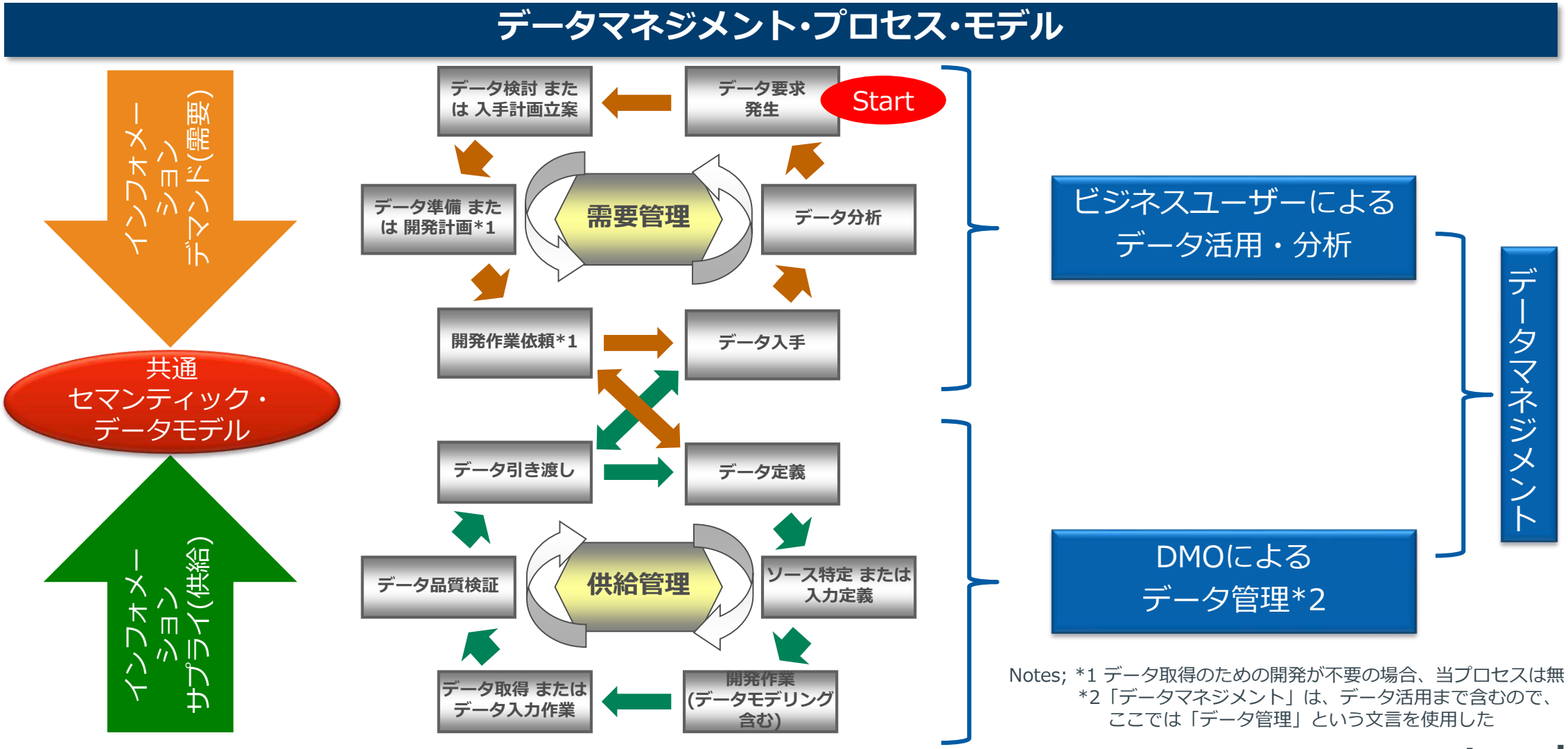


Note; *DMO : Data Management Office

©2020 Teradata

データマネジメント・プロセス

- ビジネス側のデータ活用/分析要求によりデータ要求が発生し、データマネジメントが行われます。そのプロセスのモデルを示します。



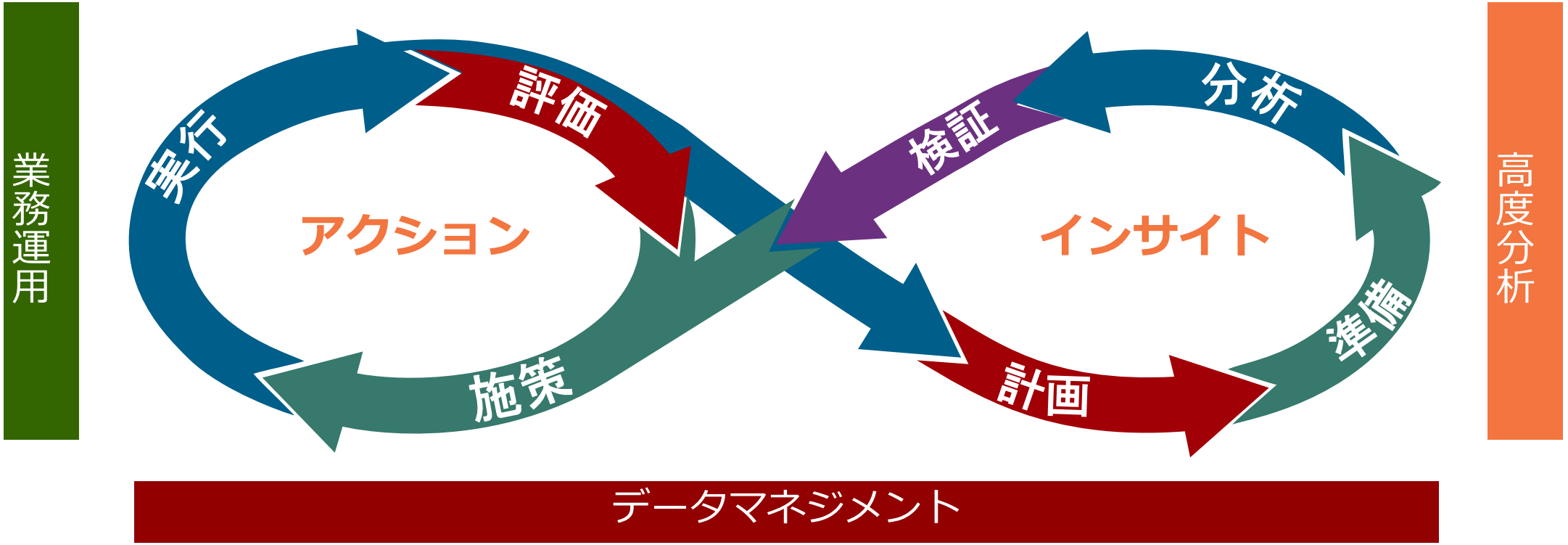
Notes; *1 データ取得のための開発が不要の場合、当プロセスは無し
*2「データマネジメント」は、データ活用まで含むので、ここでは「データ管理」という文言を使用した

©2020 Teradata

データの活用サイクル

- データの資産化を促すには、データから得られたインサイト(洞察)を即時にアクションに移し、またそのアクションに対する反応から新たなインサイトを得るというデータ活用のサイクルを作り上げる必要があります。それらの高度分析と業務運用を迅速に円滑に行えるようなプロセス、組織、環境を整えるのがデータマネジメントの役割です。

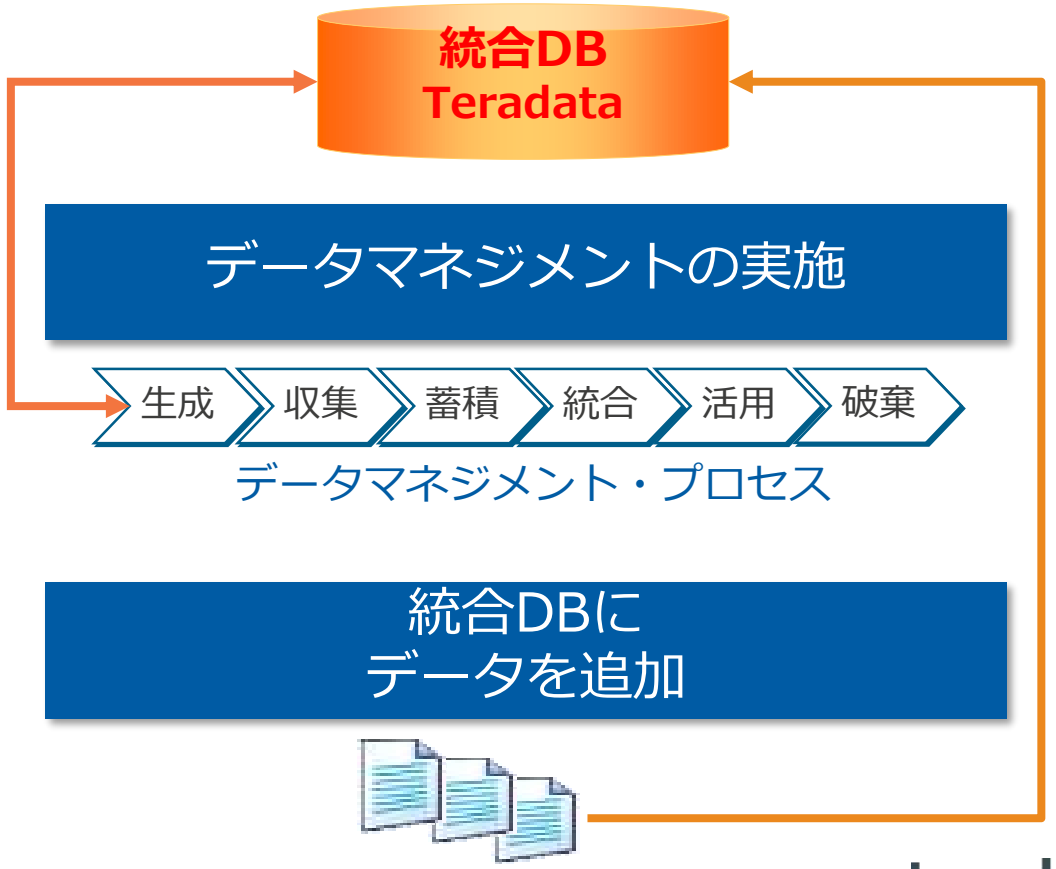
ビジネス価値を生み出すデータ活用のサイクル



©2020 Teradata

製造業の事例：データに関する3つの課題を解決

データに関する課題		解決方法
データの分断	・開発部門・製造部門・販売部門でデータの共有がされていないため、手作業が多い ・在庫の適正化、製品改善などに支障が発生している	データの整理・必要なデータの統合
データの品質	・データの歯抜けや誤りがあり、活用に支障がある ・同じ製品・部品コードが部署により異なるため使いにくい ・データが重複し正解データが不明である	データマネジメントの実施
データの不足	・新製品に活かせるデータが分散していい -顧客とのタッチポイントデータ -販売店での顧客との会話データ -製品の使い方に関するデータ	統合DBにデータを追加



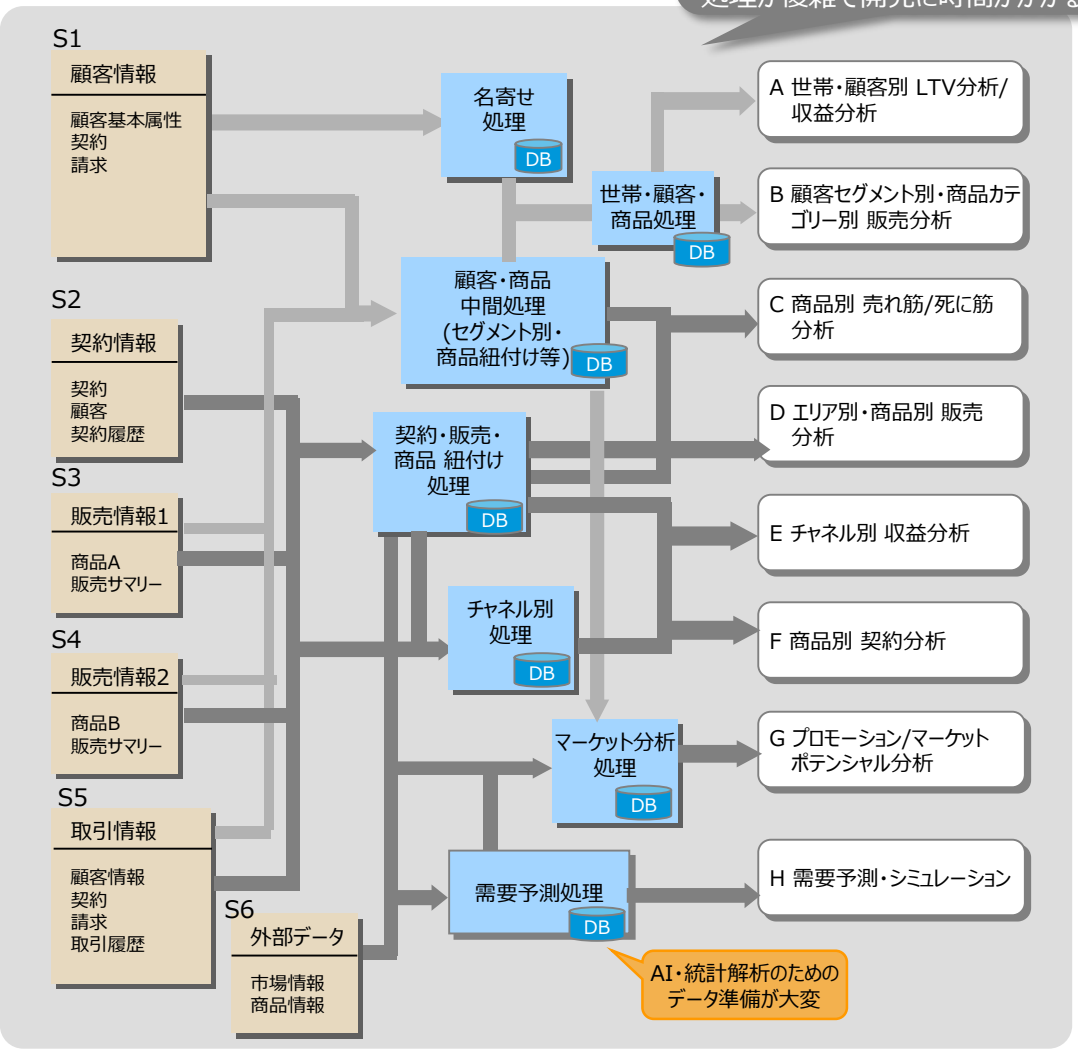
©2020 Teradata
teradata.

サービス業の事例：業務プロセス改革によりデータ品質・データ活用改善

業務プロセス改革

改革前（Before）

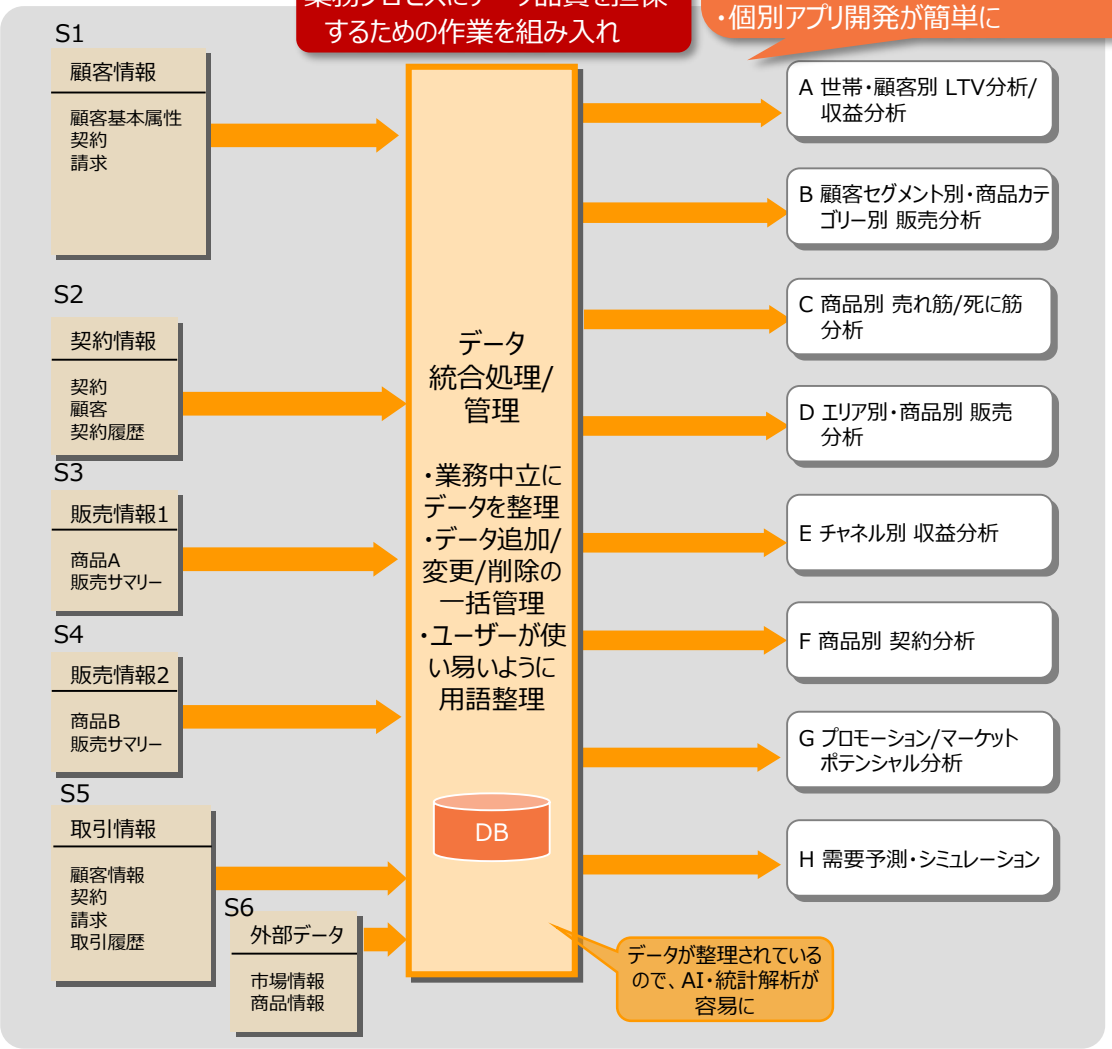
＜課題＞
・重複データや類似のデータが多く使いずらい
・データの所在や有無が不明で利用できない
・処理が複雑で開発に時間がかかる



改革後（After）

＜成果＞
・データを整理する事により迅速に業務遂行
・処理がシンプルなので、様々な分析をすぐに追加し実行
・個別アプリ開発が簡単に

業務プロセスにデータ品質を担保するための作業を組み入れ



©2020 Teradata
teradata.

金融業の事例：データ・オリエンテッド・アプローチによる改善

当初実施したこと

✓様々なビジネス要件に速やかに対応するために、各要件ごとのアプリケーションを個別に構築
✓個別アプリケーションごとに必要なデータを各部門で準備し使用

その結果 (注)

データの重複

✓類似のデータを異なる部門やシステムで保有しており、一貫性をもったデータの品質維持が困難になった

改革

データの非重複

✓適切なデータの形式や流れを検討し、一元化された全社的情報モデルを作成してデータ重複を排除した

データの非管理

✓すべてのシステムを横断した統括的なデータ管理を行っていないため、「データの所在」や「データの有無」が分からず、利用するのに多大な時間がかかった

改革

統一的なデータ管理

✓メタデータを含めた全社的なデータの管理の仕組みを作り、データの管理・活用を担当するデータマネジメント組織を作り運営した

インタフェースの多様化

✓システム間連携が増加・多様化したため、システムを跨ったデータ活用がタイムリーに出来なかったり、開発が必要で時間がかかるようになった

改革

インタフェースの単純化

✓最適なデータ配置に基づき、インタフェースを可能な限り単純化した環境を実現し、システム構築・維持管理作業を容易にした

結果

・ビジネスニーズに対し様々な切り口からの情報提供が可能になった
・データを一元的に管理し、多様な用途に迅速に応える仕組みができた
・全社でデータマネジメントを行うことによって、データ品質に関する意識が向上した

(注) 下記の項目で評価

DM課題抽出のための評価項目

・データの発生から破棄までの管理
・データ品質の担保
・データガバナンス
・データマネジメント実施組織
・データ連携とプロセス

©2020 Teradata
teradata.

日本損害保険協会の事例：パンデミック下での不正請求の未然防止

- 金融セクターへの資金相談や請求は、今後大幅に増えていくものと推察します。困窮する生活者や事業家にいち早く資金を提供したい一方で、こうした混乱に乗じて悪意のある不正な請求が増えることも事実です。例えば損保では、組織的な不正請求を行う集団を検出し、公平/公正な損害額算定および適正な保険金支払いを行うことが求められます。

分析対象データ

・支払い後の不正追及は高コストとなり、請求が成功しても支払額の数パーセントしか回収できないのが実態。請求時の疑義抽出が大切となる

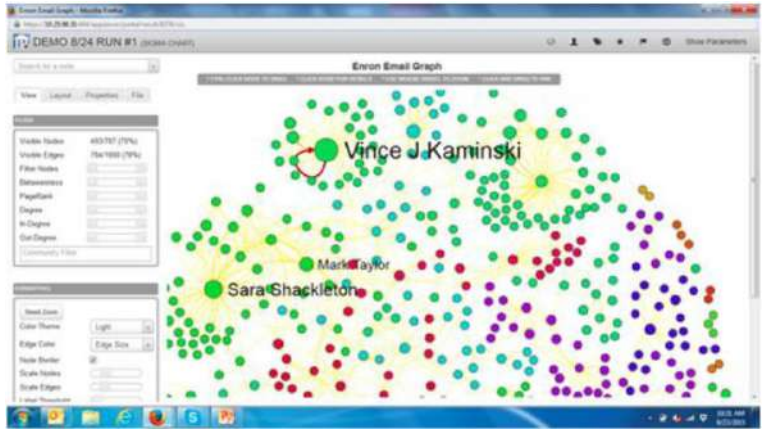
保険金請求データ

人物情報

過去のインシデントデータ

アナリティクス

・大規模な請求データ全量を対象としてネットワーク分析を行い、不正疑義事案の早期検知/早期調査開始を検討



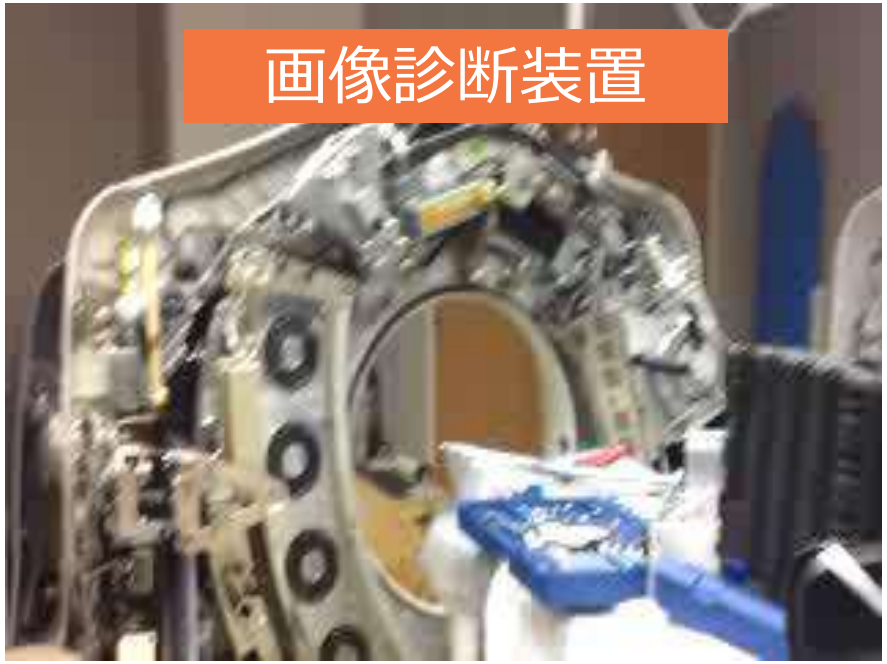
- 大量データを対象とした、「N対N」の複雑な高速演算を実行
- 所有者が何回も変わる車両や、会社ぐるみで不正をしていた医療法人の特定など実現

©2020 Teradata

SIEMENSの事例：IoTデータの活用がビジネスモデル変革に寄与

- ビッグデータの活用を通じ、事後保全から予知保全へ、補修部品提供から稼動率保証サービスへビジネスモデルを変革

Source: Presentation Dr. Horst Kayser, Chief Strategy Officer Siemens, “The Digital Change Constant”, Sep. 8 2015



- 画像診断装置は、高度に複雑な巨大システム
  - 複雑な部品表
  - 政府からの高い規制要求
  - 複雑なメンテナンススケジュール
  - 多くのセンサー
  - 多用途での活用 (例: 救急医療室 vs. 高負荷となる診断センター)
- 計画外でのダウンタイムは、救急時の利用、診療の再計画など大きな問題
  ➔ダウンタイムを防ぐための予知的アプローチへの強い要求

©2020 Teradata
teradata.

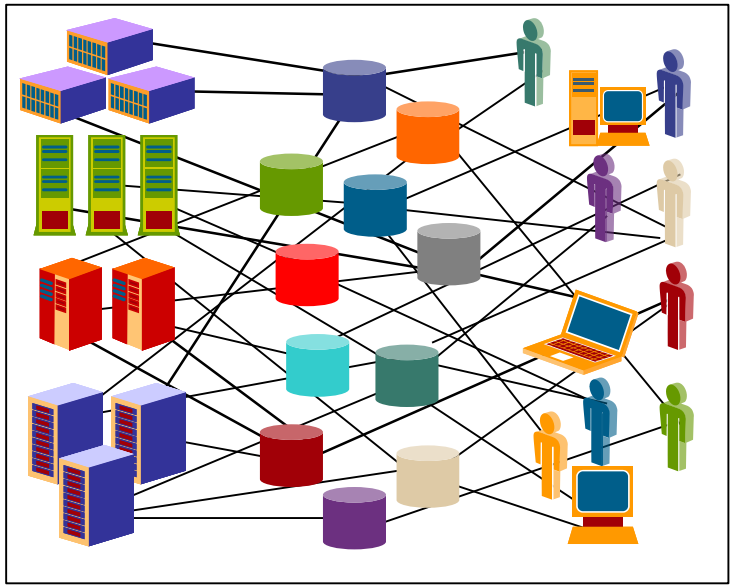
重要成功要因3

データ活用のためのデータインフラの構築

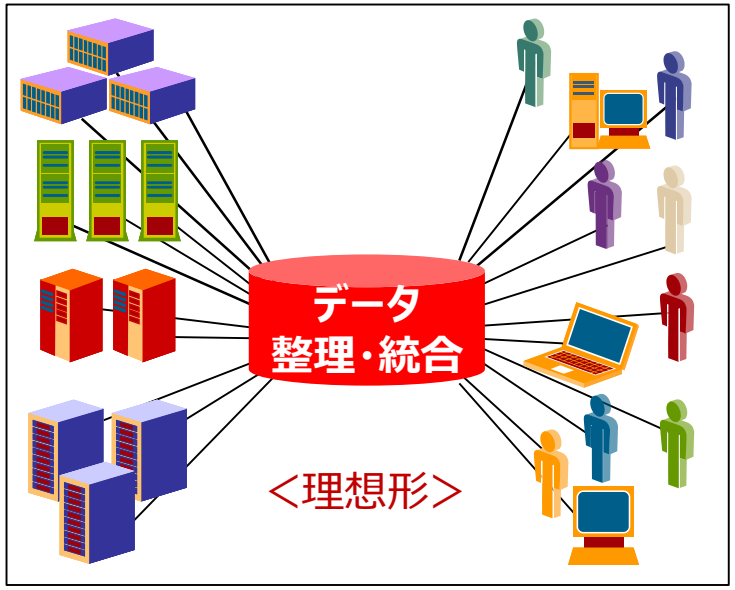
～業務系、IoT、SNS、コネクテッドなどで発生するデータを整理し、必要な統合を整合性をもって実施

	重要成功要因
1	データ戦略の策定・実行とデータマネジメントの強化 ～業務のデータ・オリエンテッドによる見直し
2	業務プロセスへのデータマネジメントの組込みとデータ活用 ～データマネジメント・プロセスの確立
3	データ活用のためのデータインフラの構築 ～業務系、IoT、SNS、コネクテッドなどで発生するデータを整理し、必要な統合を整合性をもって実施
4	組織体制の変革 ～データマネジメント組織とデータ活用組織の発足と全社での運用
5	トップによるリーダーシップ ～全社を挙げた活動として、トップのコミットが最重要

バラバラなデータを整理し統合する



多くの企業のデータ構造



データ構造のあるべき姿

主要な問題点

① データ活用の目的やそのためのデータ整備の戦略がなく、責任の所在が不明確である
② データが散在または所在不明のため、探すのに時間がかかり業務ですぐに使えない
③ 重複データが多く、どれが正しいデータかすぐに分からない
④ システム間でデータのやり取りが頻繁・煩雑なため、データ管理の負荷が大きい

解決策・期待効果

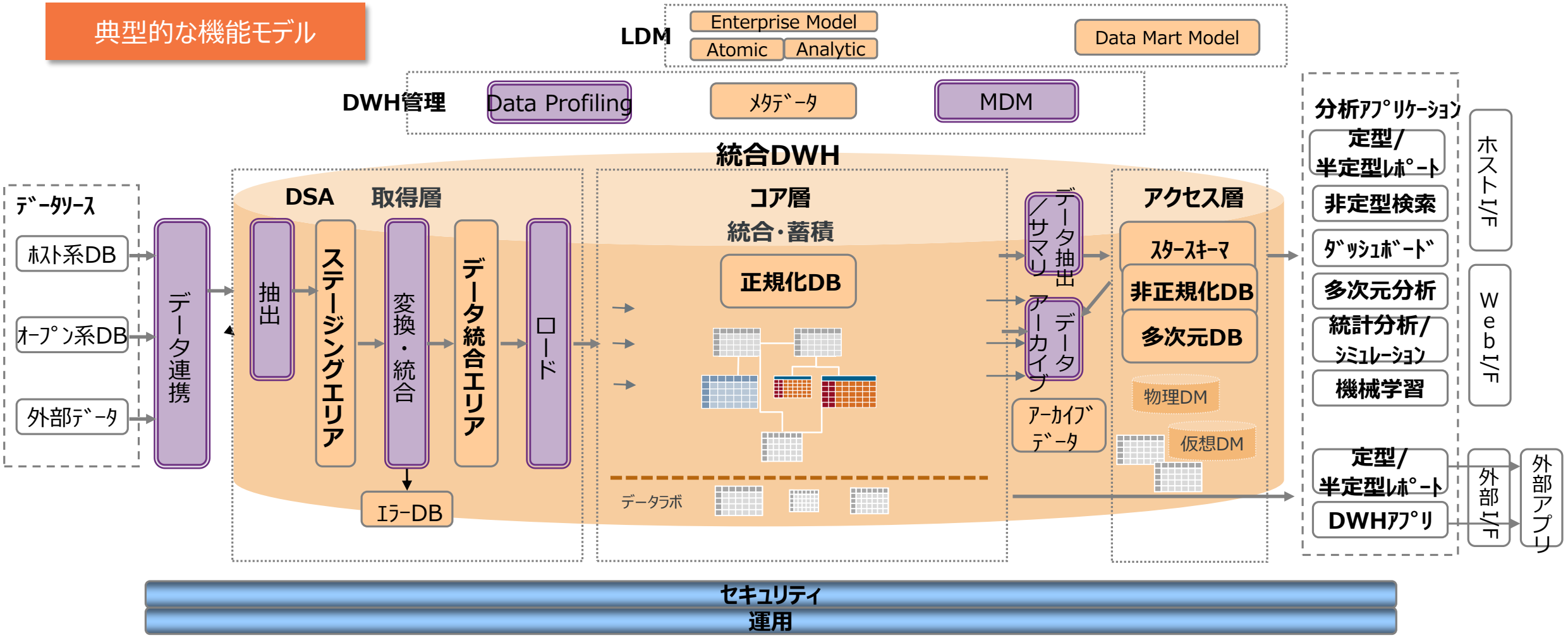
① “One Fact in One Place”により、業務への貢献が最大化する！ DMOを設置し、責任者のCDOをアサインする
② データの所在が明確なので、すばやく検索でき、業務ですぐに使える
③ 重複データがなく、正しいデータにすぐにアクセスできる
④ データが一箇所に統合されているので、リソース管理が効率的にできる

Notes; DMO : Data Management Office
CDO : Chief Data Officer

©2020 Teradata

データ活用のためのデータインフラの構築

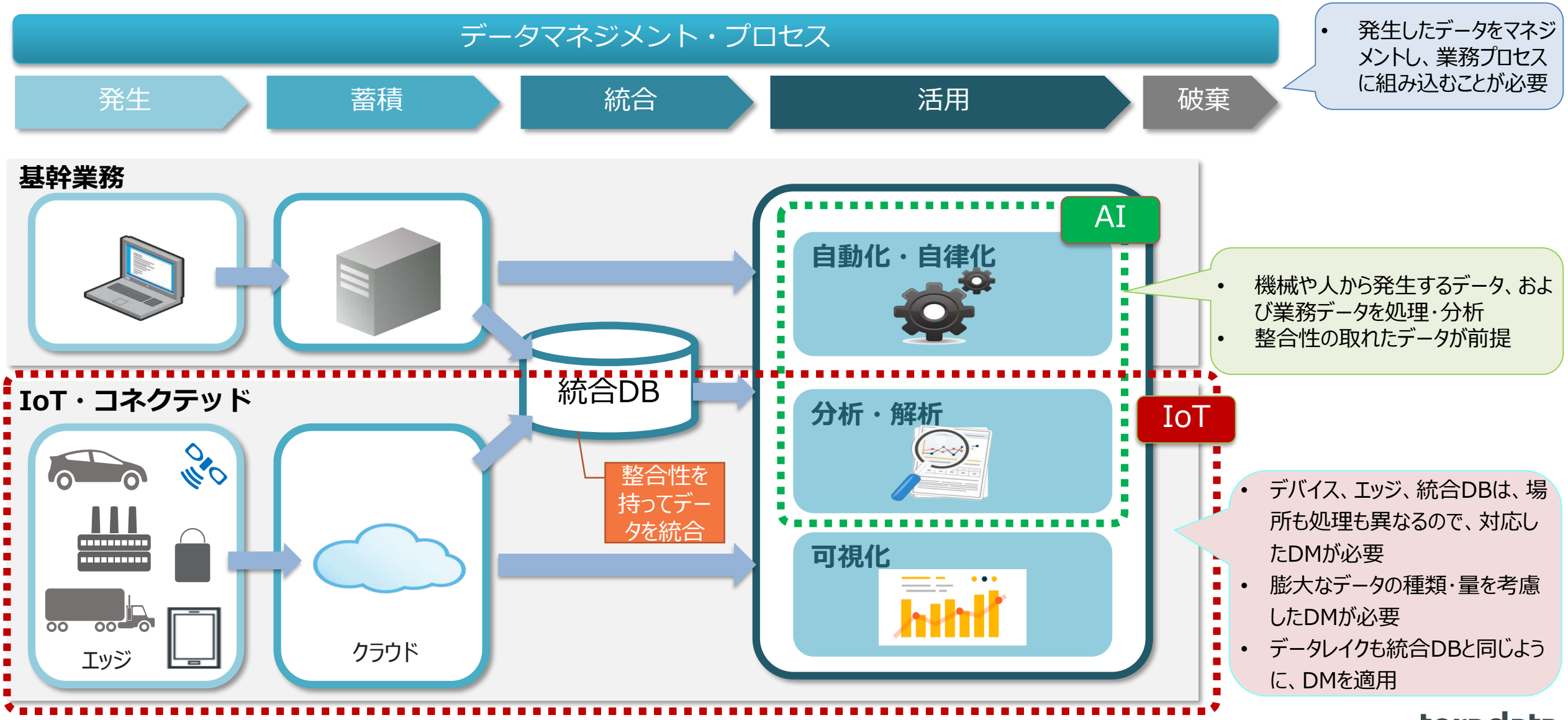
- システムアーキテクチャに基づき、機能のモデルを示します。クラウド、オンプレミス共通です。それぞれの機能を実現するツールを選択します。



©2020 Teradata

データを統合し業務に活かす

- データを業務に有効に活用するには、データマネジメントプロセスを整備することが必要です。



- 発生したデータをマネジメントし、業務プロセスに組み込むことが必要

- 機械や人から発生するデータ、および業務データを処理・分析
- 整合性の取れたデータが前提

- デバイス、エッジ、統合DBは、場所も処理も異なるので、対応したDMが必要
- 膨大なデータの種類・量を考慮したDMが必要
- データレイクも統合DBと同じように、DMを適用

【出典】JDMC IoT･AI研究会 作成資料に加筆　Note; DM：Data Management

©2020 Teradata

SIEMENSの事例：デジタライゼーションを支えるデータ分析基盤

DF | PD | PG | PS | WP | EM | MO | BT | HC

Mindsphere | EnergyIP | …

利用例1 | 利用例2 | … | … | … | 利用例n

カスタマイズ可能な分析ソリューション・パッケージ

データ提示

データ分析

データ管理

データ統合

オンプレミス | クラウド

多様なデータ・ソースおよびデータ種別

~300,000台の機器 | cRSP、 ISB | …

Siemensデジタル・サービス

業界特化型のアプリケーション/プラットフォーム

事業部別の用途の実践

原動力は Sinalytics

共通のデータ分析セットアップ
- モジュール式の分析ソリューション・パッケージ

共通の産業データ分析プラットフォーム
- 各層に複数の市販ツールあり
- 各ツールは「グルー・コード」によって相互に統合
- オンプレミスおよびクラウド配備が可能

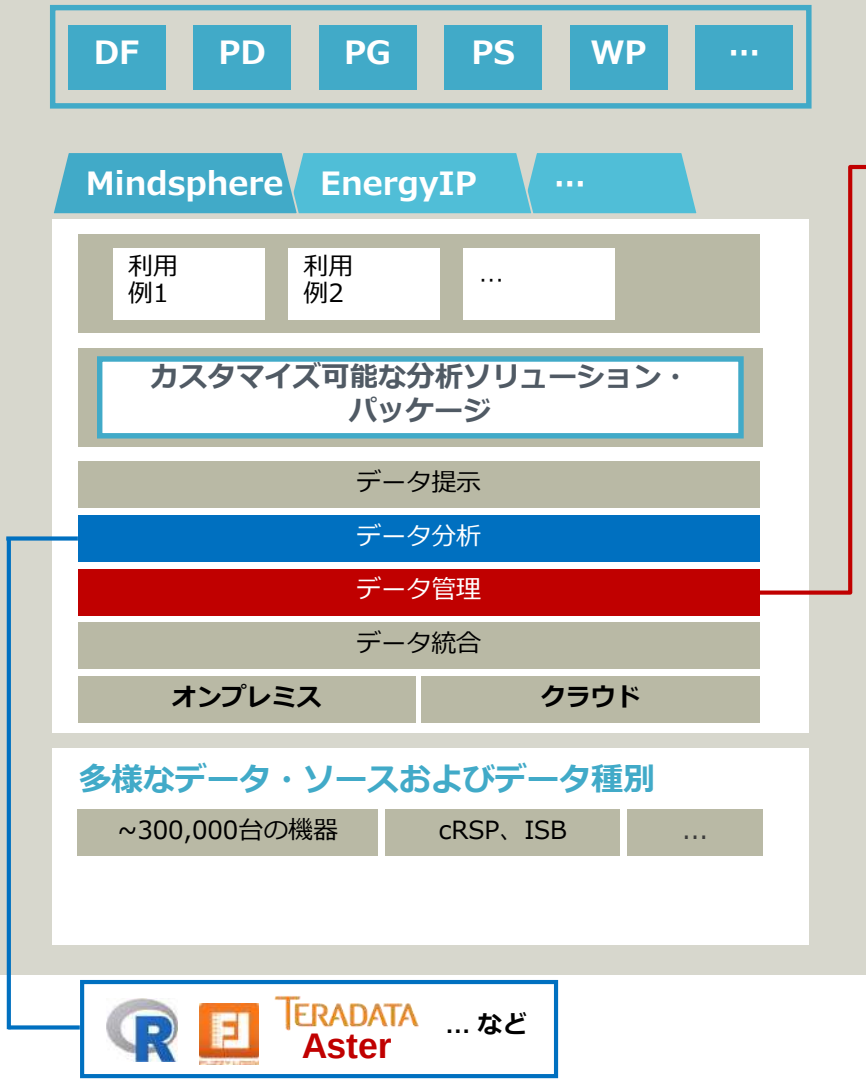
接続
- 信頼性と安全性の高いソリューションを構築
  例: 共通のリモート・サービス・プラットフォーム

ITセキュリティ・ソリューション

Sinalytics

©2020 Teradata

SIEMENSの事例：デジタライゼーションを支えるデータ分析基盤



各層の説明

データ管理
処理速度やデータ種別(構造化データと非構造化データ)に関して異なるストレージへのニーズに対処するためのデータベース類

オペレーショナル・データベース

Data Lake

リレーショナル・データ管理
超並列処理、シェアード・ナッシング、
高い情報密度、インデータベース分析

TERADATA

NoSQLデータ管理

超並列処理、シェアード・ナッシング、
低い情報密度、遅延バインディング、
コールド・データ、すべてを収集、
インデータストア分析

Hortonworks
TERADATA

ストリーム処理

©2020 Teradata
teradata.

重要成功要因4

組織体制の変革
～データマネジメント組織とデータ活用組織の発足と全社での運用

重要成功要因	
1	データ戦略の策定・実行とデータマネジメントの強化 ～業務のデータ・オリエンテッドによる見直し
2	業務プロセスへのデータマネジメントの組込みとデータ活用 ～データマネジメント・プロセスの確立
3	データ活用のためのデータインフラの構築 ～業務系、IoT、SNS、コネクテッドなどで発生するデータを整理し、必要な統合を整合性をもって実施
4	組織体制の変革 ～データマネジメント組織とデータ活用組織の発足と全社での運用
5	トップによるリーダーシップ ～全社を挙げた活動として、トップのコミットが最重要

データマネジメント組織はどれが良いか？

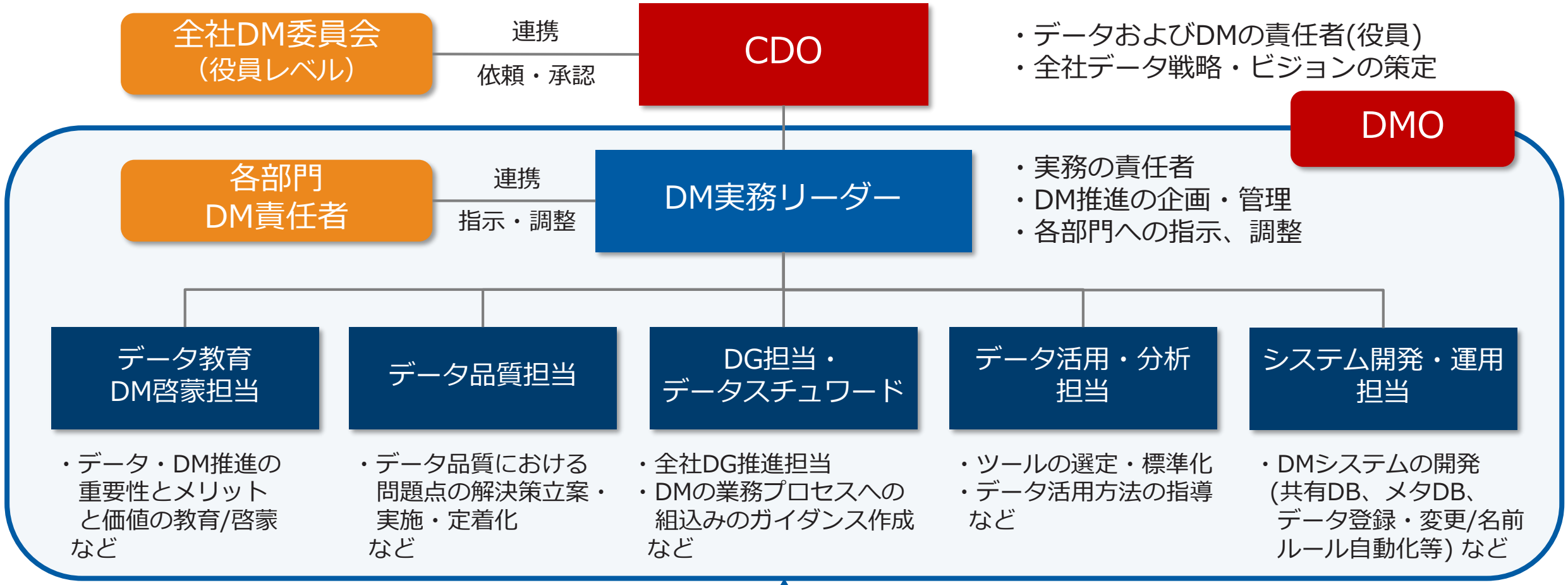
- データマネジメント組織体制の3つのオプションを示します。それぞれ一長一短です。

	中央集権型	ハイブリッド型	部門分権型
特徴	１つの部門にDMのプロを集め、全社に指示を出し統括する	中央集権型と部門分権型の両者が存在	各部門でDM機能を持ち、現場が主導して行う
メリット	✓ 全社統一のDM方針を策定でき、管理しやすい ✓ データガバナンスを効かせやすい	✓ 全社統一と各部門(現場)の両方に目配りできる	✓ 各部門で決定できるので、意思決定が早い ✓ 現場の課題に適応しやすい
デメリット	✓ 現場の課題やニーズを把握できにくくなり、施策が乖離する恐れがある	✓ 全社組織が各部門を制御する負荷がある	✓ 部門によってDMの普及にばらつきが出る ✓ 部門を跨る業務では、DM方針が異なるため調整しにくい

©2020 Teradata
teradata.

データマネジメント組織の機能と運用

- CDOとデータマネジメント組織(DMO)の機能(役割)を示します。



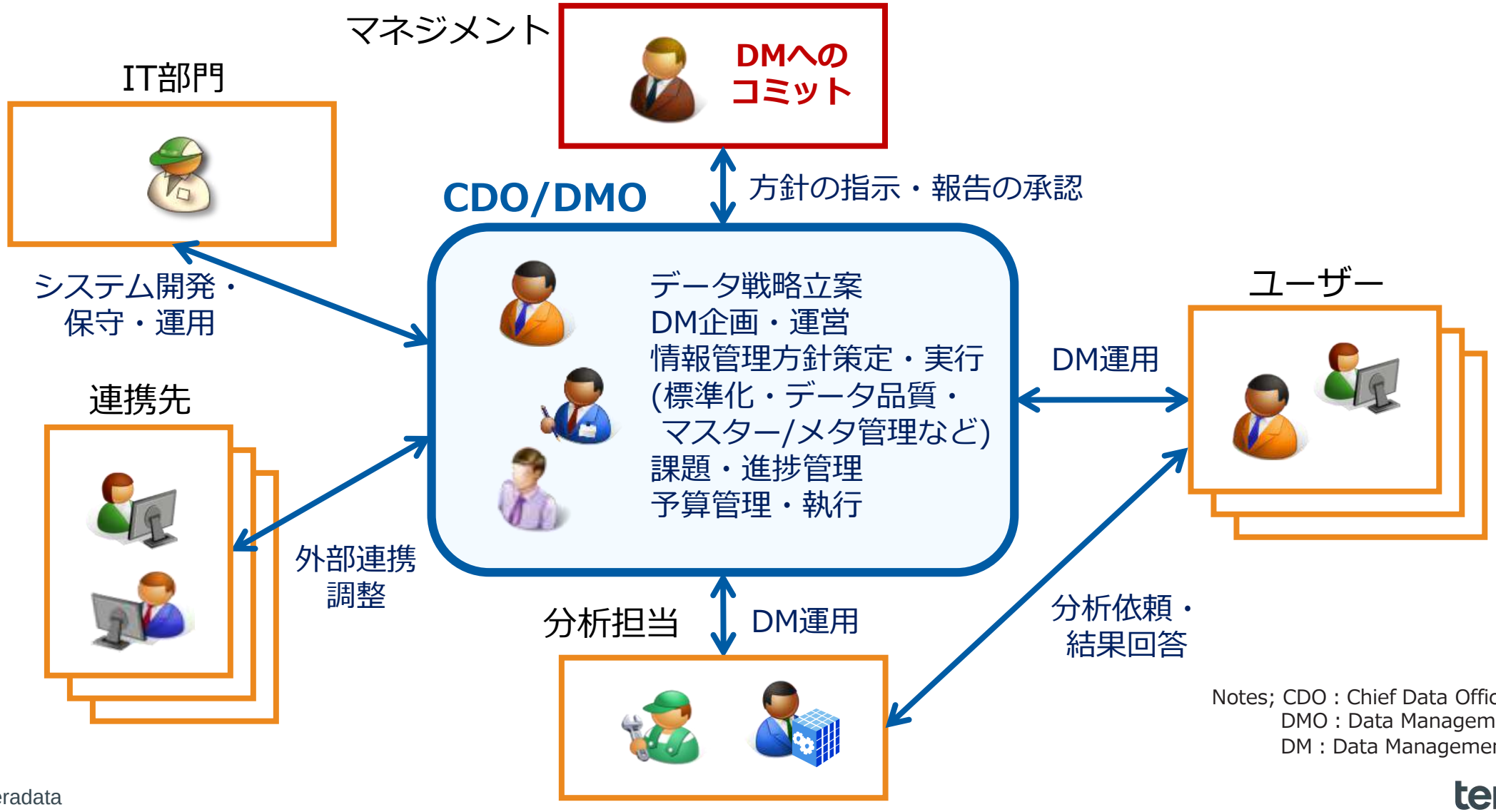
部門ごとのデータマネジメント・チーム
・DM・DG機能を部門データスチュワードが担当

Notes; CDO : Chief Data Officer
DMO : Data Management Office
DM : Data Management
DG : Data Governance

©2020 Teradata

データマネジメント組織を中心とした全社組織体制

- データマネジメント組織(DMO)を中心として、全社を挙げてデータドリブン戦略を実行します。



Notes; CDO : Chief Data Officer
DMO : Data Management Office
DM : Data Management

©2020 Teradata

SIEMENSの事例：データマネジメントの組織・人

- SIEMENSは、Smart Data Laboという事業部門横断的な分析専門組織を形成しました。

BEFORE

アイデアを思いついた事業部門の担当者が個別にデータ分析を準備

- 分析アイデアを発案
- 分析体制や環境の検討
- 予算の獲得
- 分析環境の設計・構築
- 分析の実施
- 分析アイデアの評価

分析実行～検証まで時間や投資がかさむ！

AFTER

データサイエンティスト(160人）と分析環境を全社横断的に確保

- 分析アイデアを持ち込む
- Smart Data Labが分析実施

- 分析アイデアの評価

アイデアの提案や検証が活性化！

©2020 Teradata
teradata.

重要成功要因5

トップによるリーダーシップ
～全社を挙げた活動として、トップのコミットが最重要

	重要成功要因
1	データ戦略の策定・実行とデータマネジメントの強化 ～業務のデータ・オリエンテッドによる見直し
2	業務プロセスへのデータマネジメントの組込みとデータ活用 ～データマネジメント・プロセスの確立
3	データ活用のためのデータインフラの構築 ～業務系、IoT、SNS、コネクテッドなどで発生するデータを整理し、必要な統合を整合性をもって実施
4	組織体制の変革 ～データマネジメント組織とデータ活用組織の発足と全社での運用
5	トップによるリーダーシップ ～全社を挙げた活動として、トップのコミットが最重要

ビジネス成果を獲得するデータ活用を成功させる5つの成功要因

	重要成功要因
1	データ戦略の策定・実行とデータマネジメントの強化 ～業務のデータ・オリエンテッドによる見直し
2	業務プロセスへのデータマネジメントの組込みとデータ活用 ～データマネジメント・プロセスの確立
3	データ活用のためのデータインフラの構築 ～業務系、IoT、SNS、コネクテッドなどで発生するデータを整理し、必要な統合を整合性をもって実施
4	組織体制の変革 ～データマネジメント組織とデータ活用組織の発足と全社での運用
5	トップによるリーダーシップ ～全社を挙げた活動として、トップのコミットが最重要

©2020 Teradata
teradata.

ビジネス成果を獲得するデータ活用を成功させる5つの成功要因

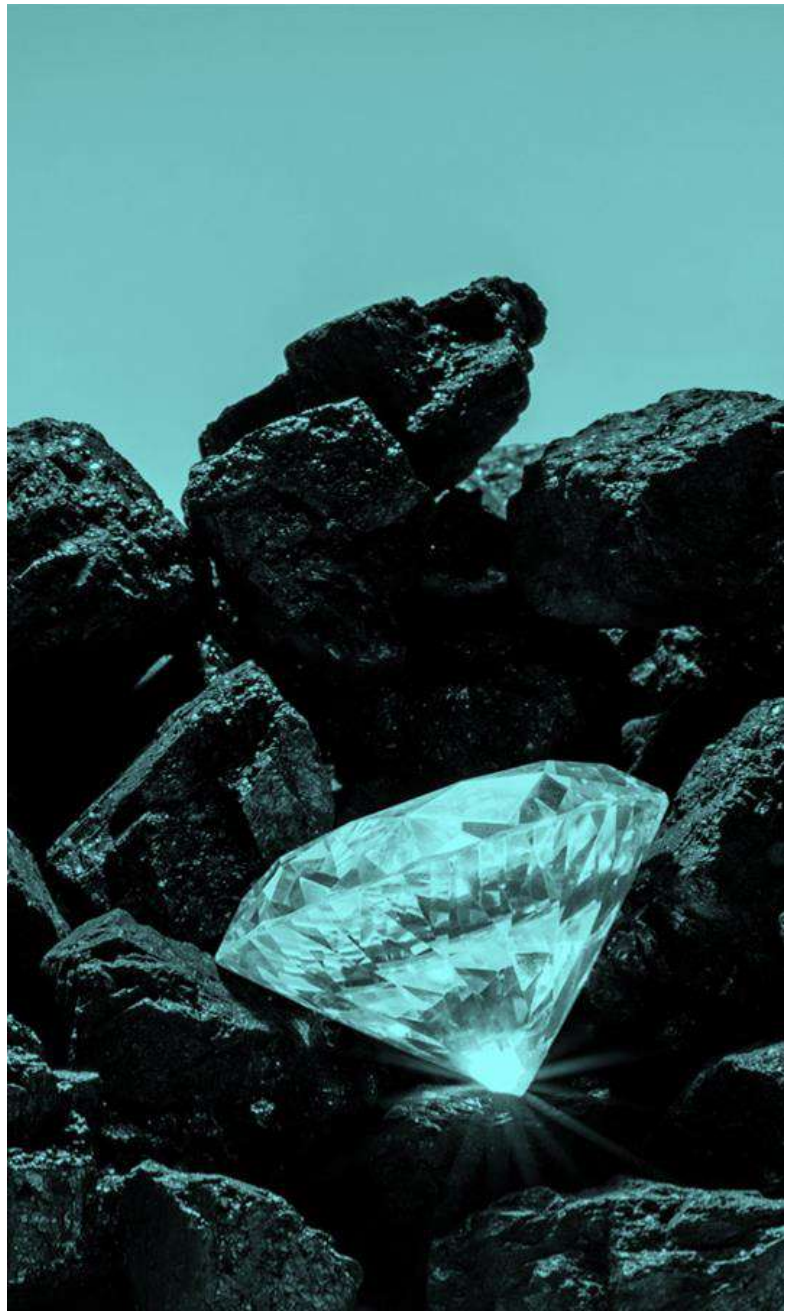
	重要成功要因
1	データ戦略の策定・実行とデータマネジメントの強化 ～業務のデータ・オリエンテッドによる見直し
4	組織体制の変革 ～データマネジメント組織とデータ活用組織の発足と全社での運用
5	トップによるリーダーシップ ～全社を挙げた活動として、トップのコミットが最重要

最も重要なこと：経営者の理解と意思決定！

“データ”は第4の経営資源であり、“データ活用・分析”は経営戦略の範疇である。

©2020 Teradata
teradata.

Q&A、まとめ



Agenda

- ✓ ビジネスは、データ活用でデジタルトランスフォーメーション！
- ✓ データ活用における問題や課題を挙げてみましょう！
- ✓ 問題や課題の解決策・重要成功要因は何でしょう？
- ✓ 重要成功要因１～5
- ✓ Q&A、まとめ

- ✓ 次回開催のご案内
- ✓ Teradataの会社概要
- ✓ Teradataがご提供するサービス
- ✓ データマネジメント成熟度診断のご紹介

©2020 Teradata

次回開催のご案内

第3回：ビッグデータ活用のための次期DWH、Data Lakeの選び方
2020年6月17日 （水）14:00-14:50

日本テラデータ株式会社
エンタープライズ・テクノロジーセールス事業部 事業部長
小永井 崇

DXでデータ量が増える中、データをビジネスで活用するためにはどのようなプラットフォームの選択が必要なのでしょうか。当セッションでは、パイロット、PoCだけで終わってしまう、本番環境として使うには脆弱すぎる、コストがかかりすぎるなど、導入後に後悔しないためのプラットフォームの選び方についてお話しいたします。

©2020 Teradata
teradata.

Teradataの会社概要

データ分析基盤ソフトウェアのリーディング・プロバイダー

社　　名：　**Teradata Corporation**
代 表 者 ：　
社長兼CEO
Steve McMillan

本　　社：　米国カリフォルニア州サンディエゴ
顧 客 数 ：　1,400社以上
事業展開：　75ヵ国以上
従業員数：　8,500人以上
パートナー：100社以上

社　　名：　**日本テラデータ株式会社**
代 表 者：　
代表取締役社長
髙橋 倫二

本　　社：　東京都港区赤坂2-23-1
アークヒルズ フロントタワー
支　　社：　大阪、名古屋、福岡
設　　立：　2007年（平成19年）4月20日

テラデータが提供するソリューション

Teradata Vantage
DWH、データレイクを統合し、すべてのデータを分析することを可能とするデータ分析基盤ソフトウェア

Teradata Consulting
データとアナリティクスを活用し、ビジネス課題を解決する「答え」を提供するコンサルティングサービス

Teradataのご紹介と特徴

Teradataのご紹介

ビッグデータ分析で40年にわたる豊富な実績

様々な業種でのデータ分析およびそのためのデータ基盤の導入実績は業界トップクラス

・製造業: トップ20の内 12社　・金融業: トップ20の内 17社　・旅客＆運輸業: トップ20の内 16社　・製薬業: トップ15社の内 10社 など

グローバル体制でサポートが可能

米国、欧州、アジア、ロシア、インドなど、すべてサポート可能

ビッグデータ基盤を実現するTeradata

クラウドでも自社運用でも、取引データ、製造データ、IoTデータ(CANデータなど)、SNSデータ、画像/映像データを含むあらゆるデータを関連して分析する基盤を提供可能

Teradataを支える人・スキルとノウハウ

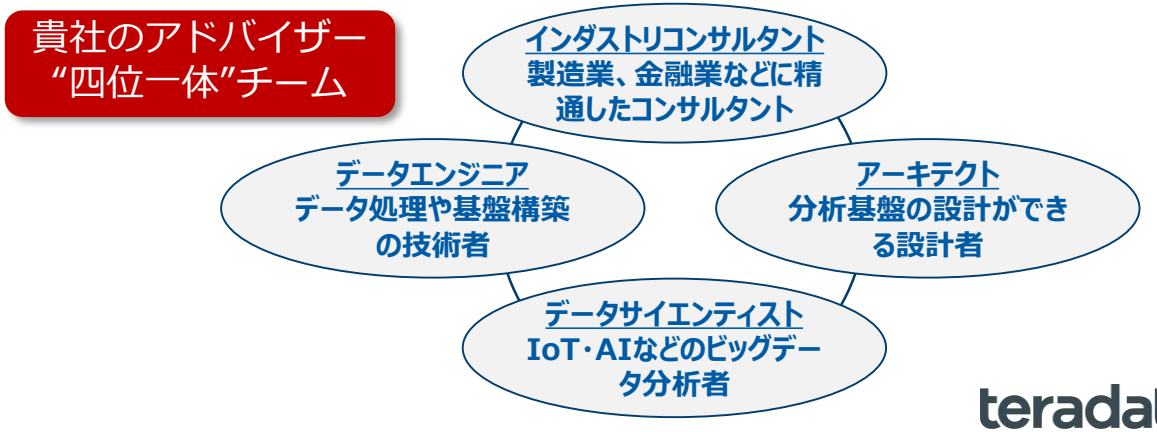
人・スキル

【強力な支援体制】
国内外でデータ活用戦略策定、データマネジメント推進、組織化支援、基盤構築の豊富な経験を持つコンサルタント、データサイエンティストなどが**“四位一体”のチーム**で支援 (下図)

高度・豊富なノウハウ

【方法論】
データ分析とデータマネジメントの実績ある方法論と**豊富なユースケース**

【知的財産】
自動車などの製造業、金融業などの**ビジネスナレッジ**と**論理データモデル(データベース設計図)**のノウハウ



©2020 Teradata

Teradataがご提供するサービス
～エンド・ツー・エンドのコンサルティングから実装まで～

ビジネス・コンサルティング

Teradataのベストプラクティスを活用し、お客様のビジネス課題の解決をサポート

データサイエンス

大量のデータからビジネス化を検証する、アナリティクスのアジャイル分析方法論“RACE”を提供

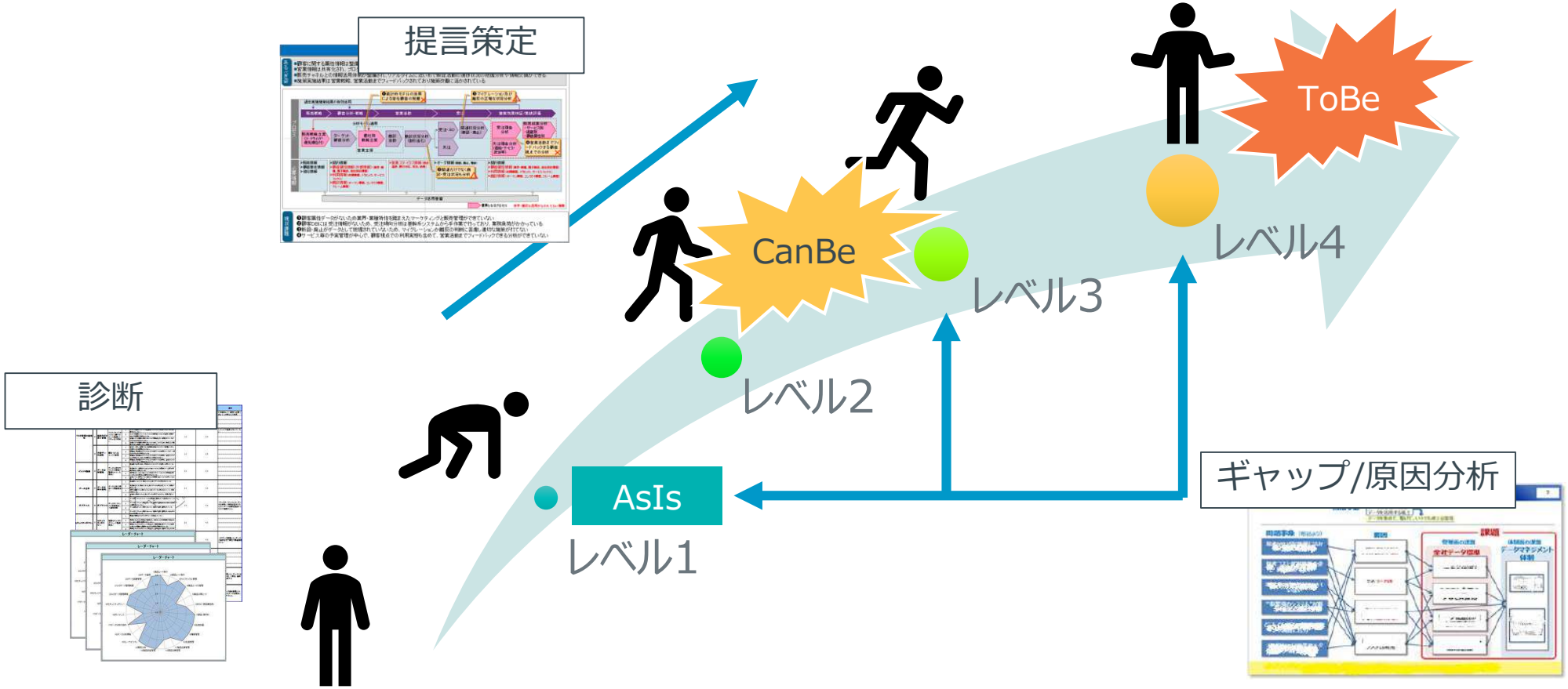
ソリューション実装

分析を業務プロセスに取り込み、アナリティクス・エコシステムとして“Teradata Vantage”で実装

©2020 Teradata
teradata.

データマネジメント成熟度診断のご紹介

- 業務に活かすデータ活用を実施していくためには、業務の中でデータマネジメントを行うことが必須です。その成熟度を診断し、現状の成熟度レベルと目指すべき目標の成熟度レベルを各ビジネス部門ごとに明らかにし、ギャップ分析・原因分析を行うことによって、今後向かうべき方向性とあるべき姿、および施策を明らかにします。



©2020 Teradata

データマネジメント成熟度診断のご紹介

目的	業務の中でデータマネジメントがどう行われているか診断を行い、課題や要望を洗い出し、今後の業務プロセスの中でいかにデータマネジメントを遂行していくか提言をまとめること

ステップ1

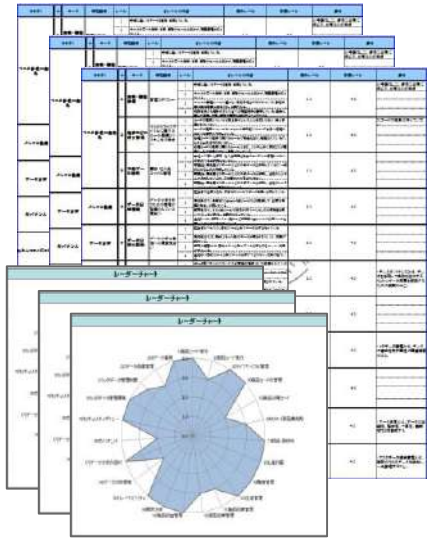
DMの論点と診断の方針決定

＜診断の計画策定＞
- 論点の整理
- ヒアリングの方向性の確定
- 方針決定
- ヒアリングシート、質問事項の準備

ステップ2

診断シートによる各部門の診断

＜診断の実施＞
- 各部門のレベル診断



ステップ3

ギャップ/原因分析の結果のまとめ

＜ギャップ/原因分析＞
- 目標と現状のギャップ分析によるギャップ把握
- 原因分析による原因の特定
- 各部門の主要課題・要望、ギャップと原因の整理

ステップ4

データマネジメント推進の提言

＜ToBeと施策提言＞
- 診断結果とベストプラクティスから当企業におけるデータマネジメントのあるべき姿(ToBe)を描く
- その実現に向けた施策を策定
- ロードマップを策定

(例)
- DMOの立ち上げ
- 業務プロセスへのDM組み込み
- DMリテラシー向上のための教育
- DM推進スケジュール

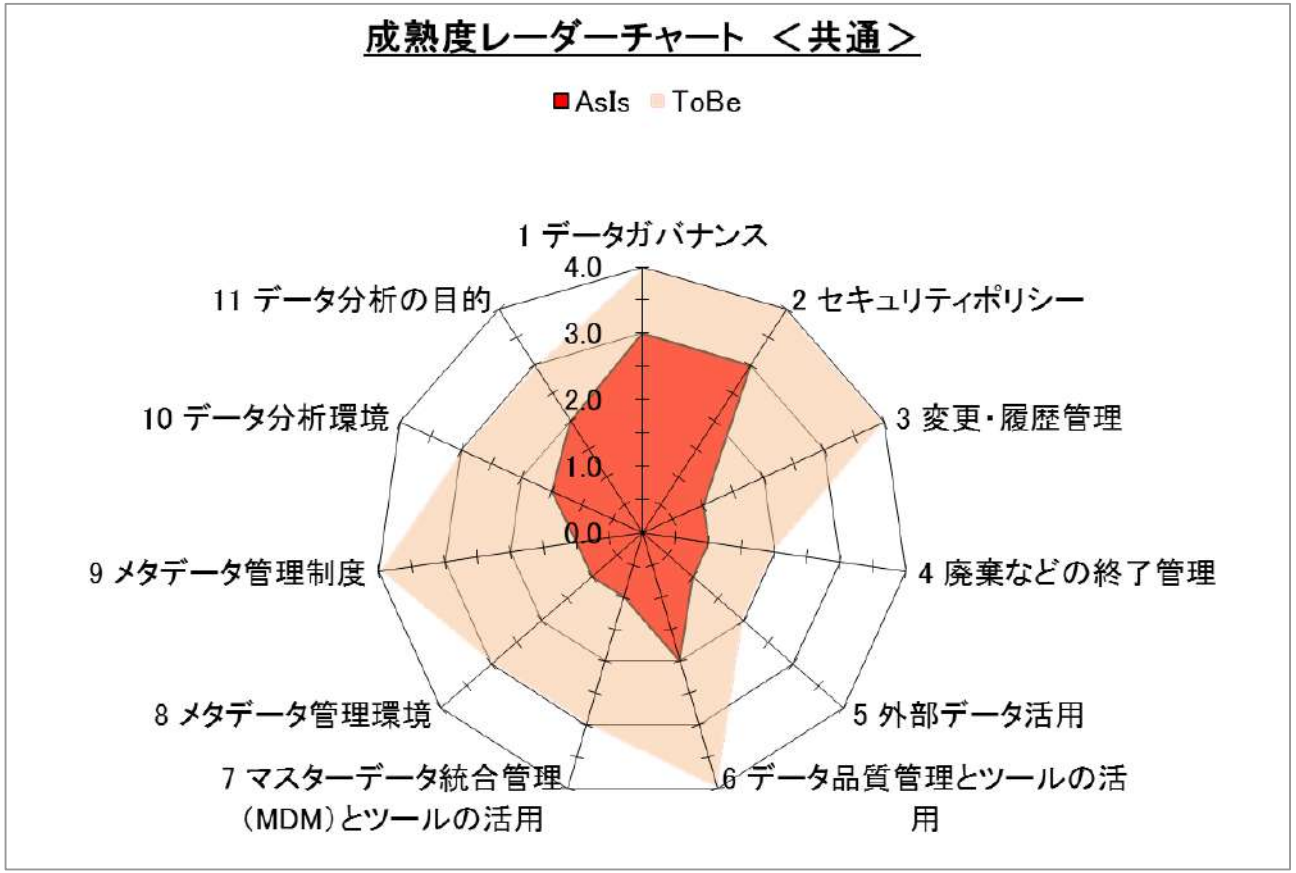
©2020 Teradata
teradata.

データマネジメント成熟度診断のご紹介

- データマネジメントの中心になる基本機能を記します。この他に、データアーキテクチャ、データウェアハウジング、データモデルなど、IT的な機能があります。

DM共通カテゴリ	#	テーマ
ガバナンス	1	データガバナンス
セキュリティポリシー	2	セキュリティポリシー
マスタ管理の高度化	3	登録・変更・履歴管理
	4	廃棄などの終了管理
	5	外部データ活用
データ品質管理	6	データ品質管理とツールの活用
マスタデータ統合管理	7	マスターデータ統合管理（MDM）とツールの活用
メタデータ管理	8	メタデータ管理環境
	9	メタデータ管理制度
データ分析	10	データ分析環境
	11	データ分析の目的

【参考】下図は各テーマごとに成熟度診断を行った結果のサンプルで、これに基づき機能強化すべき部分を把握しDMを実行していきます。



©2020 Teradata

Thank you.

teradata.

©2020 Teradata